

# ぎのぎ

あなたと議会を結ぶ情報誌

## 議会だより

平成30年(2018)

発行/11月22日

# No.129

平成30年 第6回 9月定例会・第7回臨時会



復旧作業



感謝!!

村建設業者会の皆様



被害状況



台風被害 役場各課の呼びかけに早急な対応!! 災害復旧 ボランティア

目次

- 第19期 宜野座村議会議員活動スタート……………P.2
- 平成30年第6回9月定例会(8名の議員一般質問)……………P.3~11
- 平成30年第6回9月定例会・第7回臨時会等の議決結果……………P.12.13
- 議会議員研修会など……………P.14



発行: 宜野座村議会

編集: 議会広報調査特別委員会

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座296番地 電話(098)968-8326

# 4年間の議員活動がスタート！！

宜野座村議会は9月28日、改選後初の臨時会を開き、議長に石川幹也議員、副議長に当真嗣信議員を選出しました。

議長選には2人が立候補し、議員全員の無記名投票による選挙を行いました。結果は、石川幹也議員7票、伊芸朝健議員5票でした。

副議長選にも2人が立候補し、同じく選挙の結果、当真嗣信議員7票、眞栄田絵麻議員5票でした。

議会はこれから4年間、住民の代表、奉仕者として、積極的に活動を展開してまいります。

## 第19期議会の新体制決まる！！



副議長  
当真嗣信  
産業経済委員(現2)

議長・副議長就任の挨拶

この度、9月28日の臨時会において、議長、副議長に就任することになり、責任の重大さを感じているところです。

当真村長とも、私どもも協力できることは協力し、助け合いながらやっていきたいと思いますが、主張すべきは主張し、是々非々の態度で行きたいと思いません。

2人の新人議員も加わり、新しい風を入れてくれると期待しております。村民目線で議会運営を行いますので、よろしくお願ひします。



議長  
石川幹也  
総務財政委員(現3)

### ○総務財政委員会

総務課、企画課、村民生活課、教育委員会、健康福祉課、選挙管理委員会、監査委員及びその他の常任委員会に属しない事項について調査・研究



委員  
仲間信之(新1)



委員  
津嘉山朝政(新1)



委員  
伊芸朝健(現5)



副委員長  
照屋忠利(現2)



委員長  
平田嗣義(現2)

### ○産業経済委員会

産業振興課、観光商工課、建設課、上下水道課、農業委員会に関する事項について調査・研究



委員  
眞栄田絵麻(現2)



委員  
山内昌慶(現3)



委員  
小渡久和(現7)



副委員長  
新里文彦(現2)



委員長  
当真嗣則(現5)



## 他の委員会等の所属委員名簿

|                    |                                  |
|--------------------|----------------------------------|
| 議会運営委員会            | 小渡久和(委員長)、伊芸朝健(副)、当真嗣信、当真嗣則、平田嗣義 |
| 議会広報調査特別委員会        | 津嘉山朝政(委員長)、仲間信之(副)、新里文彦、山内昌慶     |
| 米軍基地関係対策調査特別委員会    | 眞栄田絵麻(委員長)、当真嗣信(副)、議長除く全議員       |
| 金武地区消防衛生組合議会議員     | 山内昌慶、新里文彦                        |
| 議会選出監査委員           | 照屋忠利                             |
| 沖縄県介護保険広域連合議会議員    | 仲間信之                             |
| 沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員 | 眞栄田絵麻                            |
| 災害等に関する調査特別委員会     | 当真嗣信(委員長)、当真嗣則(副)、議長含む全議員        |

# 我が村政を問う

9月定例会では、8人の議員が16件の<sup>1)</sup>一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人30分以内で、答弁時間は含まない。質問した議員は自ら原稿をおこし、それを掲載しています。(1人1ページ)

詳しくは各区公民館、村文化センター図書館に配布される議会会議録又は、村ホームページから、議事録をご覧ください！

### 1) 一般質問とは??

村政全般にかかわるさまざまなテーマについて、村の方針や村長の考え、事業の計画や詳細、効果など村民の生活にかかわる多岐にわたった内容を問いただすこと。議員にとって一般質問は、もっとも華やかで意義のある発言の場であり、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です！

#### 眞栄田 絵麻 議員 (P4)

- 一、辺野古新基地建設問題について
- 二、沖縄県人ブラジル、アルゼンチン移住110周年記念事業について
- 三、第21回宜野座村産業まつりについて

#### 新里 文彦 議員 (P5)

- 一、農産物の販売促進について

#### 伊芸 朝健 議員 (P6)

- 一、予算執行計画について

#### 当真 嗣信 議員 (P7)

- 一、小・中学校の熱中症対策について
- 二、松田小学校の屋外トイレについて

#### 当真 嗣則 議員 (P8)

- 一、農業改革について
- 二、高度な技術と知識を兼ね備えた人材の職員採用について
- 三、松田区にあるヒーピー交流広場のイス・テーブルの補修について

#### 山内 昌慶 議員 (P9)

- 一、観光拠点施設の件について

#### 安富 繁 議員 (P10)

- 一、道の駅「ぎのぎ」観光拠点施設の管理について
- 二、村内のリゾート開発計画について
- 三、宜野座村西部地区幹線道路整備事業について

#### 平田 嗣義 議員 (P11)

- 一、議会の付帯決議について
- 二、宜野座高校裏の村道について

## 辺野古新基地 建設問題

**問** 県と国の情勢を鑑み、宜野座村の首長としての見解を伺う。

**答** 村長

8月31日に県庁で、辺野古新基地建設に必要な埋め立て承認撤回を発表。これを受け、現在国は工事を中断しているが、法的措置をとるといふことも明言し、再び法廷闘争に入ることが予想され、国や県がどのような対応をしていくか予断を許さない状況。村長としてこの問題について、これまでの答弁のとおり今後も国や県の動向を注視しながら対応していくしかない。

**問** 沖縄県にはこれ以上新しい基地は必要ない。未来の沖縄県、世界



眞栄田絵麻 議員

を担う子供たちのために、この豊かな自然を残すことは私達大人の責任で新基地建設を許すわけにはいきません。そのことについて。

**答** 村長

基地の問題も大きな課題として上げられるが、今後の沖縄振興をどのようにしていくか、また貧困の話とかさまざまな要因というのが争点それぞれにあると思う。有権者が選んだ知事と、宜野座村と連携をとりながら事業等を進めていきたい。

## 沖縄県人ブラジル、 アルゼンチン移住、 110周年記念事業

**問** さまざまな分野で活躍している人々との国際交流を通しての成果、提案などの報告を。

**答** 村長

次世代への沖縄文化の継承、世代や地域を越えたネットワーク構築が期待。世界のギノザンチユ子弟研修受け入れ事業は、各国村人会への若者の参加促進を含めた組織強化に役立っている。ペルー

国は、2年後の2020年にはペルー村人会設立60周年になることから、記念式典を予定。訪問の際にはもう少し滞在時間を多くし、

交流を深めてほしいとの要望が3カ国からあった。歴代研修生や村人会の職場訪問も目的として達成できた。各国の暮らしや治安なども含めた国内の情勢の一端を知ることができた。今回は松田、漢那区のみに参加になっており、祝儀など祝い金などの課題もあった。各区からの参加を切望していた。

**答** 教育長

課題は、3、4世の方々が日本語を話せず、今後に影響が出るのではないか。アルゼンチンで、日本人会館を訪問し、子弟に日本語を含めた文化を継承したいとの思いで現在も継続して運営しているとのこと。公的資金がなく、会員による会費で運営していることから厳しい状況。備品や教材、教科書などが古くなっていく現状。各区とも連携し、子ども達のために支援できることを検討していく。

## 第21回宜野座村 産業まつり

**問** 2日間の入場者数は。

**答** 村長

2日間8655人。

**問** 出店業者の売り上げは。

**答** 村長

2日間約156万円。未来のぎざは約328万円。

**問** 今後の課題は。

**答** 村長

産業まつり開催時期を検討する道の駅のぎの冬場の集客手段としてのイベント開催も検討する必要がある。次年度は関係者と協議して決定していく。ステージイベントは、西日でまぶしく、国道から見えず、イベントが行なわれているように感じにくい。展示販売イベントエリアが離れているため気付きにくい。未来のぎの方にはお客さんが少ない。場内の各コーナーの動線が分かりにくい。次年度は盛大に開催できるように検討する。



新里 文彦 議員

### 農産物の販売促進

**問** 販売拡大は、どこを指すか。

**答** 村長

有機の里宜野座村確立事業において販売戦略担当職員を配置し、村内のエコ農産物を県内スーパー及び県外への販売を行なっている。県内スーパーにつきましては、かねひで、ユニオン、コープ、その他中間業者を通して、丸大、Aコープ、リウボウ、イオン、ドン・キホーテなどへ販売。道の駅のサイズでは、県外道の駅に販路拡大し、パイナップル・マンゴーなど駅間交流で販売促進している。

**問** 県内販路拡大にて生産者、個人でも持っていけるのか。

**答** 産業振興課長

契約栽培的な考え方を基本にし単価も決めて業者と打ち合わせをして契約している状況。独自で持つて行って売るといったことは現在できない状況。

**問** 県外市長村、へそのまち協議会を通して販売するためには、お客様の需要にあわせ、生産農家の連絡先、産地直送というようなことでの販路拡大の事業の取り組みはどのような考え方が。

県外市長村、へそのまち協議会を通して販売するためには、お客様の需要にあわせ、生産農家の連絡先、産地直送というようなことでの販路拡大の事業の取り組みはどのような考え方が。

**答** 産業振興課長

未来の道の駅を通して販売することを目的に、やはり未来の道の駅の経営の安定も考え、総合的に含めて直接的な申し込みができるような体制は今現在行なっていない。今後は農家との連携のとり方も考えないといけないと思う。

**問** 季節ごとの農産物、海産物などのリーフレットはできないか。

**答** 村長

輸送料をかけた本土まで送って

採算がとれるのか、そういう部分については、もう少しこの宜野座村の規模にあつたもの。農家が安定して出せるようなものというのを整理する必要がある。今のパンフレットに名前を載せるだけではなく、その売り先というのは幾つか個人で努力しないといけないところもあるかと思う。産業振興課で相談していただいて、直接いろいろと状況の中を踏まえて対応させていただきたい。

食の安心・安全を継続的に生産できるよう、老朽化したハウス修繕補助事業計画は。

**問** 食の安心・安全を継続的に生産できるよう、老朽化したハウス修繕補助事業計画は。

**答** 村長

沖縄県園芸振興課主催の修繕に特化した事業はないとの回答を得ている。この問題は本村だけの話ではない。現状を報告し、問題提起をしながら支援体制をつくれなにか関係機関へ要望していきたいと考えている。

**答** 産業振興課長

事業がどのような内容で導入さ



リーフレットの活用を!!

れ、耐用年数等、再確認しないとイケない。総合的なヒアリングになると思うので、相談に来た場合、現状を把握しながら県と調整をしていく。

農漁産物販売戦略として個人ホームページを作成しネット注文・販売など販路拡大も事業主には効果的です。(所得向上)

## 予算執行計画

**問** 花の村づくり推進について、北部地域等の連携は。

**答** 村長

北部地域では、総合事務局、国道事務所が事務局となり、やんばる花と美の風景街道・パートナーシップ会議が設立され、本村は平成29年1月より同会議に加盟している。設立目的は、国道沿いに点在する地域固有の資源や魅力に磨きをかけ、通過するためだけの道ではなく、沖縄の花の美が体験できる美しい観光街道の創出を目指し観光振興と地域活性化を図ることを目的とする。



伊芸 朝健 議員

**問** 各区と村の連携、推進体制は。

**答** 村長

副村長を会長とし、各区長、学識経験者、役員関係課長で構成する花の村づくり推進協議会を設置している。美化コンクールや各区へ花の苗などを助成する事業を展開、各区の公共施設や道路沿いの植樹帯への植栽など、花いっぱい村づくりを目指し取組んでいる。

**問** 道路クリーン作戦と花の村づくり推進は。

**答** 村長

道路クリーン作戦は建設課が所管し、国交省が定める道路ふれあい月間の8月に毎年実施し、道路の愛護運動や道路の正しい利用の啓発などの各種活動を推進することを目的とし、道路を美しくする目的と花いっぱい運動とは関連しており、村の推進協議会の委員には建設課長も入っており、今後連携をとり花の村づくりを推進していきたい。

**問** 特産品開発への支援状況は。

**答** 村長

今年度新規事業とし、村の魅力を村内外に発信できる特産品やお土産商品の開発のアイデアを募集し、認定者には奨励金を交付するコンテスト、宜野座村特産品アイデア応援奨励事業を実施し、認定者にはアイデア実現に向けて取組んでいただき、実効性を高めていきたい。9月末に審査会を開催し、認定と奨励金の交付を行う。10月の村まつりに表彰を予定している。

**問** 下水道の処理について、課題を把握し対策を講じ、現状を検討、改善することはないか。

**答** 村長

農業集落排水整備事業は昭和61年度に漢那地区をスタートし、平成21年度に城原区を新規に取り込んだ漢那城原地区クリーンセンターが供用開始され、下水道の整備は完了している。各クリーンセン

ターには太陽光発電設備や汚泥の堆肥化施設等、資源循環型設備の整備も進め、平成25年度に惣慶区に機能強化事業を導入し、処理場の更新と処理区域の拡充を行っている。課題は、宜野座並びに松田クリーンセンターが供用開始から15年以上経過し、施設の経年劣化が著しく処理機能の低下が懸念され、両施設の更新に向けて機能強化対策計画策定委託業務を今年度発注している。

**問** 汚泥堆肥の現状は。

**答** 村長

昨年度は約11・1トン、袋詰め740袋の汚泥堆肥を製造し、利用先は、役場や各区公民館等の公共施設で利用。家庭や事業所、農家などにも無料で配布し、主に花壇や花木へ利用されている。

汚泥堆肥の  
無料配布

問い合わせ先  
上下水道課  
TEL 968-5136



当真 嗣信 議員

### 小・中学校の熱中症対策

**問** 地球温暖化に伴い異常気象が全国的に起こっており、特に気温の上昇については異常事態である。各学校へは製氷機・冷水機等の設置が行われているがグラウンドにおける熱中症対策についてどう対応しているか。

**答** 教育長

各小学校において帽子をかぶること、水筒を持参し水分補給をすること、教諭により常に児童生徒の健康観察を行い、体調不良者は見学させて休憩水分補給をさせる。部活動時は各自水筒を持参し、補給用のキーパーや水分補給が出来る

るタブレットを用意している。簡易テントや大型扇風機で送風を行っている。全職員に熱中症対策の周知を図り、環境省熱中症予防サイトを活用しその日の暑さ指数を玄関に掲示し、啓発をしている。教職員研修で金武地区消防の熱中症やけがに対する対応策・処置等の研修を実施し共通理解を図っている。

**問** 宜野座中学校はグラウンドにきれいなベンチ、宜野座小学校は父兄が建てたものがある、松田・漢那小学校は設置されていない。熱中症対策として部活動の応援ということも兼ねて各小学校にベンチを造って体育の授業・部活動に活用できるように設置できないか。

**答** 教育長

予算がどの程度掛かるのか、すぐ対応できるかも含め検討する。

### 松田小学校の屋外トイレ

**問** 松田小学校以外の学校にはグラウンド近くに屋外トイレが設置されているが、松田小学校では区所有のトイレを使用して、児童が清掃を行っている。故障等があると区の方で修繕しているのが実情です。便器も大分古くなり取替え時期に来ていることから、村が対応できないか。

**答** 教育長

松田小学校の屋外トイレについて調査した結果、昭和60年に区の予算で建築されており、当時小学校グラウンドにナイター設備があったことから区民参加の行事が多数あり区民の利用頻度が高かったことと、環境衛生の面からもグラウンド近くにトイレがあったほうがよいとの要望もあったため区においてトイレ建設に至ったと伺っている。トイレの改修については和式から洋式に改修すると約40万

円。全体のリフォームを行った場合は500万円から600万円程度掛かる見込み。施設の老朽化もかなり進んでいるため、今後の修繕などについては松田区と十分に協議・調整した上で検討していく。



建物は区、土地は村、どこが修善??



## 農業改革

**答** 村長

**問** サトウキビ栽培の機械化一貫体系と農作業の受委託体制の確立については。

**答** 村長

松田区における作業受託体制については、区及び生産組合などで話し合いを行い、これからの体制づくりについて、区を含め関係者と引き続き協議していきたいと考えている。

**答** 村長

農地からの赤土流出防止対策については、赤土流出防止営農対策促進事業にて、グリーンベルトの設置や緑肥種、またビニールマルチ、月桃チップ材などによる被覆対策を実施している。

**問**

台風に強い栽培施設の導入並びに施設の長寿命化対策については。

**答** 村長

台風に強い栽培施設の導入については、沖縄県で、台風などの自然災害に対応した施設を導入すること、高機能型栽培施設導入支援事業がある。

**問**

沖縄の薬草の可能性については。

**答** 村長

近年生産面積が増加している作物なので、安定的な生産や栽培が可能な作物なのか、連作障害などが発生するものではないかなども踏まえ、普及並びに加工体制の検討を考えている。



眞 嗣則 議員

高度な技術と知識を兼ね備えた人材の職員採用

**問**

企業農業・観光産業・IT産業施設の対応には、高度な技術と知識が必要と考える。これらの条件を兼ね備えた中堅職員の中途採用は考えられないか。

**答** 村長

各分野とも最先端技術は日進月歩であるため、今後は専門分野に特化した職員を採用するか、また先端知識、技能を持つ企業や大学アドバイザーなどを活用しながら職員のレベル向上を図り、事業を推進していくか、どちらがより望ましい方向性なのか検討していきたい。

松田区にあるヒーピイ交流広場のイス・テーブルの補修



塩害で腐食した施設！！

**問**

当施設は、松田の総合施設整備事業で入れた事業の一環だが、イスとテーブルの骨材が腐食している。区が補修するか、村が補修するか。

**答**

村長

現在まで、施設の維持管理に要する経費は、協定書の規定どおり松田区が負担することになっている。現場を確認したら、イス・テーブルにおいて、塩害による腐食が見られる。修繕については松田区と調整していきたい。



## 観光拠点施設

**問** 来場している客は、どのような目的の客がいるのかを調べたことはあるか。

**答** 村長

大きく3つある。1つ目にドライブ途中のトイレ利用目的。2つ目に、未来ぎのぎ・各テナントでの買い物や食事目的。3つ目に、水遊び広場や大型遊具などの利用を目的に来場。

で検討。新たな駐車場整備については、補助事業を活用した整備を検討している。

**問** 今後、この周辺でどのような対策・開発を考えているか。

**答** 村長

左岸側にフルーツフラワーガーデンゾーン、右岸側にアスレチックパークゾーンの案がある。今後の取り組みは、ゲートゾーンの取り組みを強化、推進していくべきだと考えている。

車場に誘導して対応している。

**問** 大型遊具について、適正な入場料は考えたことはないか。

**答** 村長

遊具等の有料化について考えてない。

**問** 観光拠点施設に訪れて遊んで、その後、家に帰るのが。宜野座村を回って帰るのが調べたことがあるか。

**答** 観光商工課長

宜野座村の他のところもみてもらっていると考えている。

**問** 村民に有利になるような形で、活用できる方法でやっていかないといけないのでは。

**答** 村長

より効果的な本村への経済効果が生まれるような形に持っていきたいと考えている。

**問** 宜野座村観光協会にしっかり仕事をしてもらいたいが。

**答** 村長

本村全体の経済発展のために、仕事をしていただけるように後押ししたい。

**問** 自立できる観光協会になってほしいと思うが。

**答** 村長

現時点で補助金なしで運営できるかという大変難しく、その見通しはまだまだ先のことだと思う。

**問** 新しい観光資源の開発を観光協会と連携してやっていただきたい。

**答** 村長

資源が眠っているのは、認識している。活用についても今後検討していく。

**問** 駐車場について、どのような考えを持っているか。

**答** 村長

現状の施設内駐車場だけでは不足している。今後は暫定的に施設周辺の空き地などを活用する方向



山内 昌慶 議員

**問** 足の悪い人への対応は。

**答** 観光商工課長

身障者用の駐車場は2台ある。駐車場係りがいる際には、大型駐

せっかく来た、お客様が逃げちゃうぞー!!  
早期駐車場整備を!!



## 道の駅「ぎのぎ」・ 観光拠点施設の管理

**問** 整備の必要な箇所の説明と整備した件数は。

**答** 村長

完了した箇所は、授乳室のカートン取替え、鉄骨の保護カバーの設置、トイレ内照明の設定変更、水槽用電源移設、トイレサマターの撤去の5項目。その他の改善点は、利用者の多い夏休み期間を回避し9月以降に実施する計画。

**問** 今後の整備計画は。

**答** 村長

特産品加工直売センターエリアのWiFi設備の整備が発注。駐車場確保については、暫定的に



安富 繁 議員

施設周辺の空き地などを活用する。

**問** 周辺テナントより改善要望、要請等はなかったか。

**答** 村長

道の駅関係者が参加するエリア会議を開催し、運営状況や問題点の把握、情報共有等を行う。

**問** 当施設オープン後の周辺テナントの営業状況は。

**答** 村長

6店舗でレジ通過数が約4万5800人、未来ぎのざレジ通過数は7万9517人、前年度比147.4%の増。

## 村内のリゾート 開発計画

**問** 昨年の9月定例会で、村内のリゾート開発計画は、6件あると説明があった。その後の進捗は。新規開発計画があるか。

**答** 村長

松田地区3件、惣慶地区1件、漢那地区2件。進捗状況は、1つ目松田布流石原のH社のホテル開

発は完了。2つ目松田太田原のP社は、面積の変更等を検討中であること、説明があったが日程は未定となっている。3つ目に松田国際交流付近にU社、S社、A社による開発は、村との開発協定書締結等を行い、8月に県より開発行為の変更が許可されており、平成35年までに事業を完了する予定。4つ目に惣慶明記原のT社は、予定区域に農業振興地域も含まれ、

県の関係機関との調整を進めている。5つ目に漢那浜原、K社は、概略設計が進んでいない状況、タランの活用等も含めて、社内検討中との事。6つ目に漢那松崎原は、土地所有するM社で道路確保に向けた調整を進めているが、一部農業振興地域も含まれるため、除外申請も必要である。城原区等とも今後協議していく予定である。新規のリゾート開発関係の情報は無いが、本村にとって有益な形で進むよう調整していく。

## 宜野座村西部地区 幹線道路整備事業

**問**

本村が要望してきた事業について、漢那ダム関連事業として、推進すべきものと考えるが。

**答** 村長

仮称、宜野座恩納線整備事業として、県道漢那松田線の漢那区側の終点を起点とし、県道104号線を経由し、58号に至る本島の東西を結ぶネットワークを形成する路線であり、観光産業を支援し、地域の活性化に資する道路としての整備を目的として現在県で検討されている。進捗状況として、国道329号と県道104号線を結ぶ区間、6・9キロにおいて、自動車道を境として、東・西側に分けて概略検討。329号から自動車道までについては、平成22年度までに概略設計が実施され、経済性に優れる推奨案が選定されているとのこと。自動車道、また104号線の金武町側区間については、平成28年度から施工性及び速達性に優れる推奨案が選定された。今後調査設計に入っていくものと思われるが、ハンセンを通過するため、米軍との調整、金武町との協議が必要とされる。村として、事業推進に協力していきたい。

## 議会の付帯決議

**問** 議会の付帯決議についてどのように取組んでいるか。

**答** 村長

平成30年度一般会計予算について、付帯決議があった各課嘱託職員の報酬、報償費のアンバランスの改善は、現在同職種間で報酬、報償費が異なる案件について、業務内容の実態把握を行っている。これまでも見直しが必要な嘱託職員の報酬等は調査検討をして調整を行っているので、同様に対応していく。平成32年度会計年度任用職員制度の導入を進めるにあたり、抜本的な見直しを検討する。2件目の予算積算根拠の説明資料の提出は、31年度予算についてはどの

ような説明資料を添付するか現在協議中。

**問** 予算審議の中で、報酬、報償費のアンバランスの件についてずっと質疑してきた、その都度方向性を見出してやっていくということでありませう。特に徴収関係、技術関係を主に申し上げているが、他市町村の調査などいろいろあったと思うが具体的に。

**答** 総務課長

徴収員、技術者の報酬については、他市長村、県内の動向を含め調査した。徴収員は、本村と同じくらいの金額もある、かなり低いところもある。業務の本身は、職の質などにより報酬の違いが出てくる。技術職も同じような状況。宜野座村の職の実態にあった報酬は幾らなのか、今ある職の実態がこれまでと同様でいいのかバランスがとれるような形で調整を行っている。

**問** 次年度以降村長は改善を行うということだが、具体的にその方向で進められているか。

**答** 村長

徴収員の中でのアンバランスという表現されているが、職種の内容というのは同じ徴収業務でも内容に違いがあるという認識を持っている。全議員に内容を説明した上でいろいろご意見を賜りたい。

**問** 法的に徴収業務を行っている、

税の徴収、水道料徴収は、直接村民と関わっているのである程度バランスがとれて、是非新年度に向けて改善してほしい。技術職について当初から位置づけられたらずとそのままなので、早めに改善してほしい。

**答** 村長

国の制度も変わってくるのが見込まれますので、市場の状況なども勘案して、これまでも見直してきましたが、次年度にむけて検討していきたい。平成32年度には制度は始まるので、抜本的改善等、制度導入に向けて対応したい。

**問** 宜野座高校裏の村道39号線宜野座古島の整備計画は。

**答** 村長

地元の要望を受け平成24年度に実施設計を行った。平成27年度には、宜野座区行政委員会へ整備概要について説明を行った。委員の中から当該地区は歴史のある地域なので周辺住民の意見を集約して検討したい旨の意見があり、現在に至っている。宜野座区に確認したまままだ協議してないということで、村としては地元の意向を尊重しながら対応していきたい。



平田 嗣義 議員

## 宜野座高校裏の村道

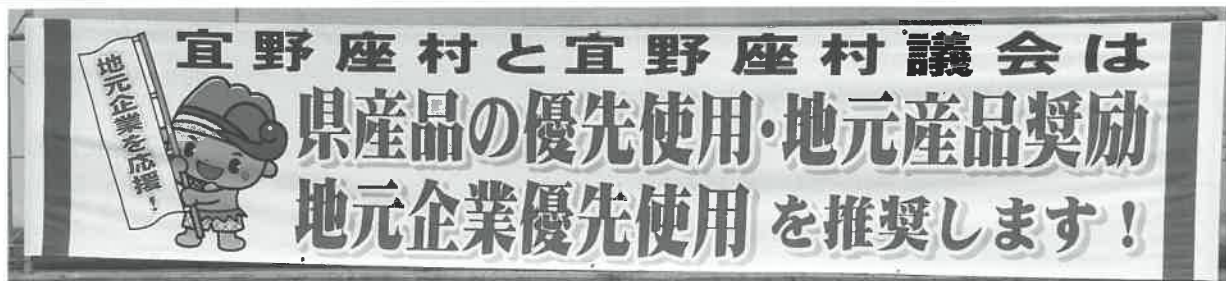


歴史ある通り、住民意志の確認を！！

平成30年 第6回 9月定例会（9月11日～21日）で決まったこと

| 議案番号   | 件名                                  | 概要   | 審議結果     |
|--------|-------------------------------------|--|----------|
| 議案第32号 | 平成30年度宜野座村一般会計補正予算（第3号）について         | 歳入歳出それぞれ4億9千224万8千円を追加し、予算総額74億1千775万5千円とする  | 原案可決     |
| 議案第33号 | 平成30年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について | 歳入歳出それぞれ9千300万4千円を追加し、予算総額9億7千314万5千円とする   | 〃        |
| 議案第34号 | 平成30年度宜野座村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について  | 歳入歳出それぞれ8万4千円を追加し、予算総額4千891万6千円とする   | 〃        |
| 議案第35号 | 平成30年度宜野座村水道事業会計補正予算（第2号）について       | 資本的収入額2億6千106万4千円に、1千516万6千円を増額し、2億7千623万円とし、資本的支出額3億5千538万6千円に、1千100万円を増額し、3億6千638万6千円とする | 〃        |
| 議案第36号 | 平成30年度宜野座村下水道事業特別会計補正予算（第1号）        | 歳入歳出それぞれ164万6千円を追加し、予算総額1億4千954万4千円とする   | 〃        |
| 議案第37号 | 平成29年度宜野座村水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について   | 決算審査特別委員会にて現場調査、逐条審査、質疑、委員会認定  | 原案可決及び認定 |
| 議案第38号 | 宜野座村税条例等の一部を改正する条例について              | 地方税法等の法律等の一部改正に伴い、条例の一部を改正した   | 原案可決     |
| 議案第39号 | 宜野座村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 宜野座多目的スポーツ施設の設置に伴い、本条例の一部を改正した   | 〃        |
| 報告第8号  | 平成29年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について   | 実質公債費比率、将来負担比率ともに範囲内。資金不足比率は、水道事業会計、下水道事業特別会計ともに健全である                                      | 報告       |
| 報告第9号  | 平成29年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について     | 沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告（本村での実施なし）  | 〃        |
| 認定第1号  | 平成29年度宜野座村一般会計歳入歳出決算認定について          | 決算審査特別委員会にて現場調査、逐条審査、質疑、委員会認定  | 認定       |
| 認定第2号  | 平成29年度宜野座村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  | 〃  | 〃        |
| 認定第3号  | 平成29年度宜野座村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について   | 〃  | 〃        |
| 認定第4号  | 平成29年度宜野座村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について     | 〃  | 〃        |

|       |                                |  |      |
|-------|--------------------------------|--|------|
| 決議第2号 | 平成30年度 地元産品奨励及び地元企業優先使用についての決議 | 村内及び県産品を優先的に使用し、雇用拡大経済循環の向上等図り、地域の活性化を推進するため決議する（下記参照）                     | 原案採択 |
| 決議第3号 | 県産品の優先使用についての決議                |  | 〃    |
| 決議第4号 | 議員派遣について                       | 町村議会議員研修会、町村議会常任委員長・副委員長実務研修会、宜野座村ハワイウチナーンチュ国際交流事業及びハワイ宜野座村人会創立70周年記念事業に派遣 | 〃    |



決議2号、3号において、宜野座村・宜野座村議会双方で、村内3ヶ所に横幕を設置した。

### 平成30年 第7回 臨時会（9月28日）で決まったこと

| 議案番号  | 件名                          | 概要                                  | 審議結果 |
|-------|-----------------------------|-------------------------------------|------|
| 決議第5号 | 議会広報調査特別委員会設置に関する決議について     | 委員長：津嘉山朝政 副委員長：仲間信之<br>委員：新里文彦 山内昌慶 | 原案可決 |
| 決議第6号 | 米軍基地関係対策調査特別委員会設置に関する決議について | 委員長：眞栄田絵麻 副委員長：当真嗣信<br>議長を除く全議員     | 〃    |
| 決議第7号 | 災害等に関する調査特別委員会設置に関する決議について  | 委員長：当真嗣信 副委員長：當眞嗣則<br>議長を含む全議員      | 〃    |
| 同意第2号 | 監査委員の選任同意について               | 監査委員の任期満了に伴い、照屋忠利氏の選任同意             | 原案同意 |

## 新・議会広報調査特別委員メンバー決まる!!

今回の議会広報調査特別委員会は、4人中3人が未経験者です。しかし、村民の皆様と議会とをつなぐ大切な使命を果たそうと、委員一同やる気に燃えています。先輩委員の成果を引き継ぎながら、新しいアイデアや企画で、新鮮な魅力ある「議会だより」をお届けできるよう努めてまいります。取材などの要望も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

委員長 津嘉山朝政

議会だよりの全ページカラー化や住民の声、掲載等を目指します!!



かわります!!  
がんばります!!

## ■ 町村議会議員・事務局職員研修会

- 【日時】平成30年10月12日(金)  
 【場所】NBCサムシング・フォー西崎  
 【演題】「町村議会議員の議員報酬・議員定数のあり方について」  
 【講師】江藤 俊昭 氏(山梨学院大学大学院教授)  
 【演題】「議員の公務災害と全国町村議会議員団体保障制度について」  
 【講師】廣瀬 始 氏(全国町村議会議員互助会事務局長)



統一選挙後初の研修会。  
先島を含め町村から約410名 熱心に参加!!

## 町村議会広報研修会

- 【日時】平成30年11月8日(木)  
 【場所】パシフィックホテル沖縄  
 【演題】「誰のため、何のための議会広報か!!」  
 ~議員力アップにつながる作成ポイント~  
 【講師】越地 真一郎 氏  
 (熊本日日新聞社NIE専門委員)  
 【内容】「地域住民と議会(議員)とをつなぎ、住み良い地域づくりに貢献すること、同時に議会の動きを広報することで、議員力のアップを図ることが議会だより発行の目的である。そのためには、読んでもらえる議会だより(分かりやすく魅力ある紙面)を作成しなければならないが、ノウハウやスキル以前に、編集、発行に関する人間の意識が重要である。」



早速実践!!

**12月定例会は12月12日(水)からの予定です。**

みんなで議会を傍聴しよう。いこうよ! みようよ! 考えようよ!

**ご意見募集!!**

議会だよりに対するご意見など募集しています。  
 なお、お寄せいただいたご意見は紙面に掲載することがあります。

詳しくは下記の委員のみなさんへ



※以上のメンバーで、議会だよりを編集しています。

議会広報調査特別委員会  
 議長 石川 幹也  
 委員長 津嘉山 朝政  
 副委員長 仲間 信之  
 委員 山内 昌慶  
 委員 新里 文彦



慌ただしい編集作業であった。先輩議員や事務局にはお世話を掛けた。感謝申し上げます。  
 次回は一三〇号の発行になるが、研修会の成果、今回の経験をいかして責務を果たしたい。  
 村民と議会をつなぎ、双方向に風通しのよい議会だよりを目指したい。  
 津嘉山

**編集後記**